



## ～ プログラム ～

1. 委嘱状交付
2. 市長あいさつ
3. 事務局紹介
4. メンター職員自己紹介
5. メンバー自己紹介
6. 事業説明
7. アイスブレイク
8. ワークショップ
9. 発表・まとめ
10. 次回おしらせ



市長とメンバー(13名)・メンター職員(6名)のみなさん

ワークショップ・発表の内容は  
次のページをご覧ください

## ～ メンバー紹介 ～

13名の内訳は次のとおりです

大学生 or 社会人？

- ・大学生 5名
- ・社会人 8名

出身地域は？

- ・平賀地域 8名
- ・尾上地域 5名

みなさん、積極的な方ばかり  
です！

## ～ 委嘱状交付 ～



## ～ ワーキンググループって？ ～

若者の力を活かすまちづくり施策を検討する(仮称)若者議会を、令和3年度に設置するための準備組織です。

## ～ 市長あいさつ ～

新型コロナウイルス感染拡大の影響で開始時期が遅くなったが、活発な意見を出して欲しい。予算が伴う素晴らしいアイデアが出ることを期待します。

## ～ 次回開催 ～

令和2年9月4日(金) 午後7時から  
平川市文化センター  
第1回で出した意見を踏まえ、次回も  
楽しくやっていきましょう！



# ワークショップ

## テーマ 「若者が活躍できるまち・若者が住みたいまち」ってどんなまち？

### ～ ワークショップ ～

3グループに分かれ、「若者が活躍できるまち・若者が住みたいまち」について、考えを思い思いに付箋に書き、模造紙にまとめました。



意見はこちら



発表



	Aグループ	Bグループ	Cグループ
イベント	元からあるイベントの充実 (ねぶた・白岩まつり・獅子踊り) ねぶたの団体・市民・観客の一体感 自分たちが中心になれる 好きなことを主張出来て世に出せる 音楽・芸術活動などを気軽にできる		楽しい祭りが多い イベントが充実している (春や秋のイベントも) 若者向けのスポーツクラブチーム
観光	観光開発が進んでいる インスタ映えスポットがある	魅力ある建物がたくさんあるまち “田舎らしさ”を生かしたまち “古くて新しい”まち	
SNS	ネットの活用 若い人にわかりやすい発信 (地域・イベント・施設など)	“写真映え”するようなまち 強みがある主力のものをつくる 知名度を上げる YouTuberへの支援	SNS映えするまち インスタ映えできる撮影場所の設置 ネット(SNS)で情報が得られる
暮らし	交通機関の発達 他のまちとの差別化 景観に清潔感がある 古民家に住める パートナーシップ制度がある 県外の人との交流・国際交流が多い	土地代が安い 防音対策がしてある家が多い 市民に対する制度が厚い 娯楽施設の充実	交通の便が良い シェアハウスや借家が多い 居住する上で経済的に困らない 暮らしの相談をしやすい 過干渉しない環境
買い物		アウトレットモールがある 簡単に欲しいものが買える環境 ハンドメイド作品の販売会場 ファミレスなど24時間の飲食店 青森県にない有名店がある	オシャレなカフェがある 飲み屋街がある 明るくにぎやかで店が多い
仕事	若くとも安定した給料が得られる 働き口が多い 仕事の種類が多い	給料が高い キャリアアップできる環境 若い人の裁量権がある職場 理想の働き口(職の選択肢の多さ)	仕事の数・選択肢が多い アルバイトする機会が多い
子育て	子育てしやすい支援の充実 教育の機会が多い IT教育が進んでいる	高い能力の人材集団 職を応援してくれるまち	専門学校がある・多い
その他	余った食材で無償で料理をふるまう	活気・刺激が多い 将来にワクワクできる 地元の長老が若い人に委ねる	